

第34回 那須IVR研究会

獨協医科大学越谷病院

片田芳明

2012-11/17(Sat)

症例：65歳

HCCにて、5年前よりTACEを繰り返す。

1st : A7

2nd : A7

3rd : A7 + Rt.IPA

4th : Rt.IPA + Rt.9th-11th intercostal artery

5th : A7 + Rt.IPA(NBCA-Lip)

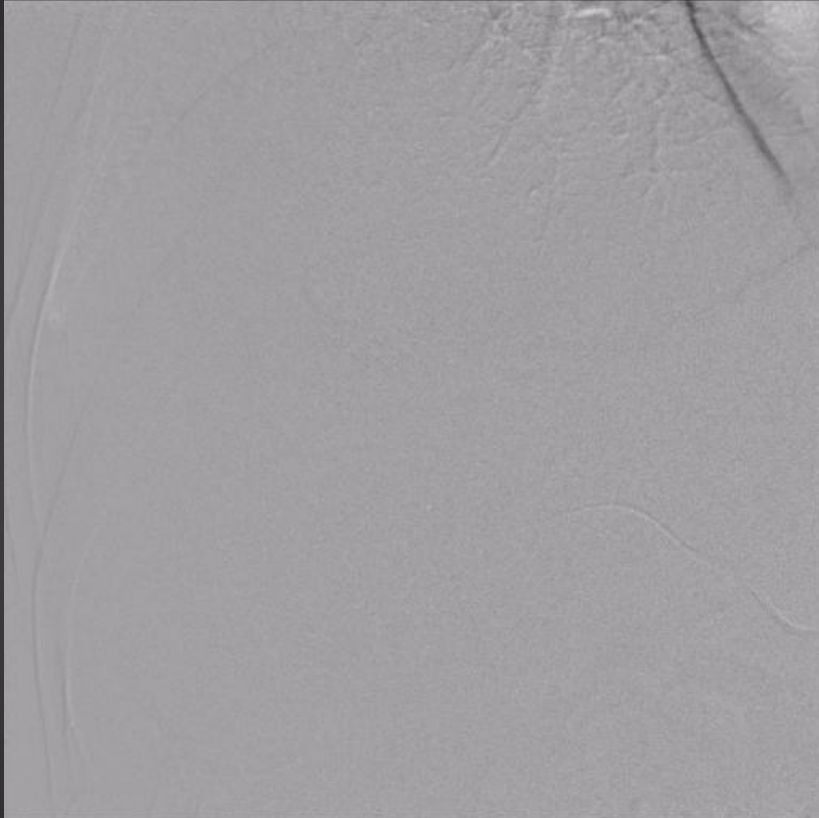
6th : Rt.11th-12th intercostal artery + Rt.mid.adrenal artery

7th : Rt.mid.adrenal artery + Rt. capsular artery

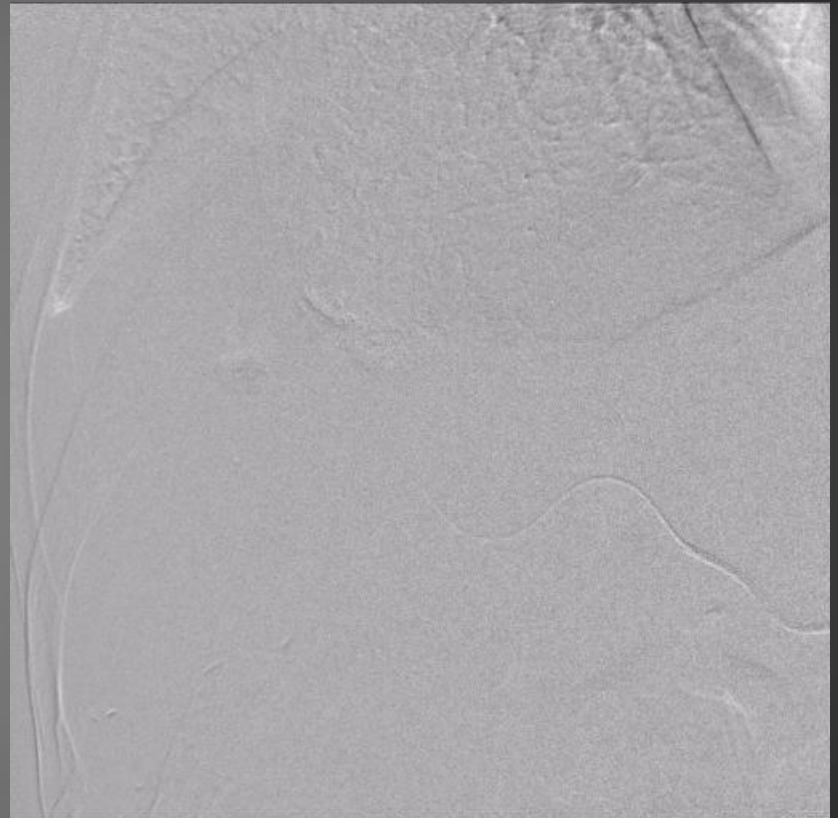
いずれも各分枝を造影した上で、feederに対して治療を施行。

今回、8回目のTACEを施行。
feederは、A7・Rt.IPA及びRt.10th intercostal artery。
それぞれ1.8Fr microtheterをfeeder末梢まで挿入し、
miriplatin + Lipiodolを動注し、ジェルパートで塞栓。

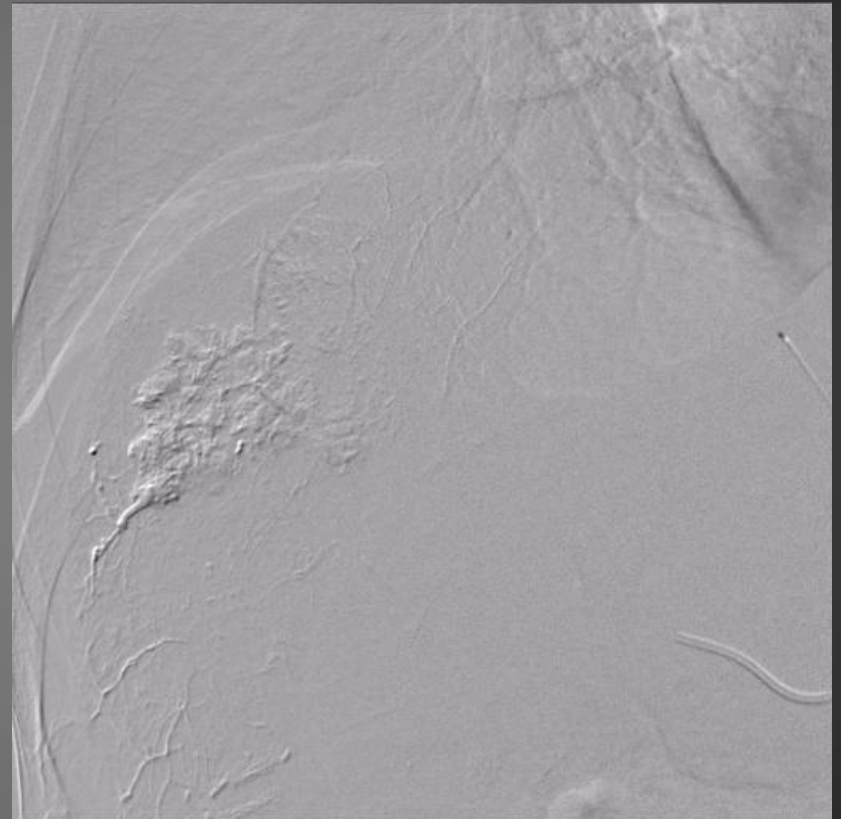
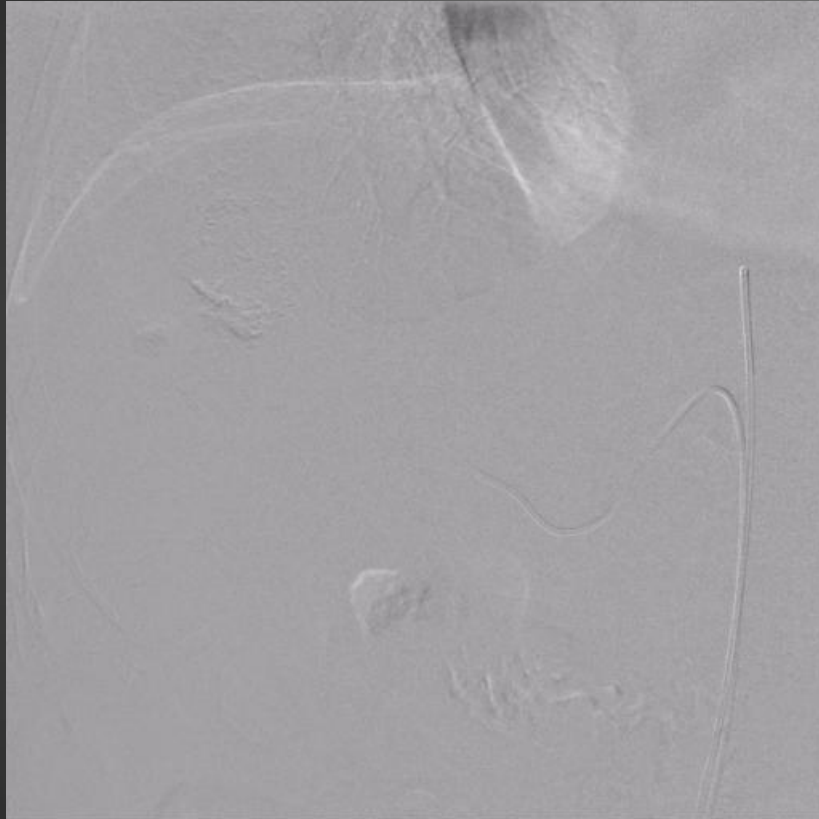
RHA-DSA

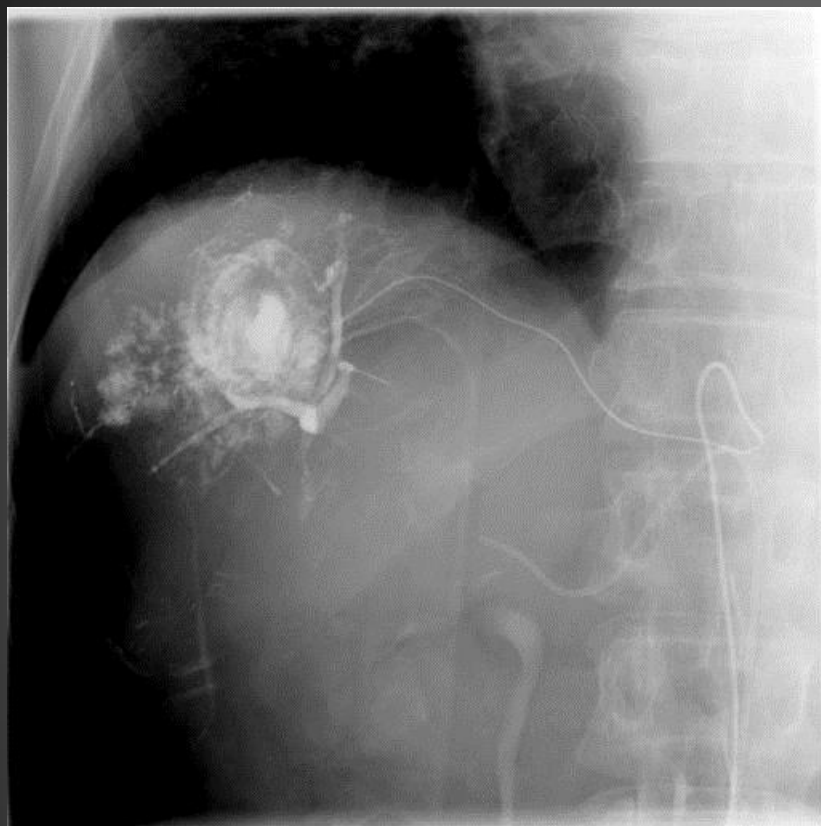


A7-DSA

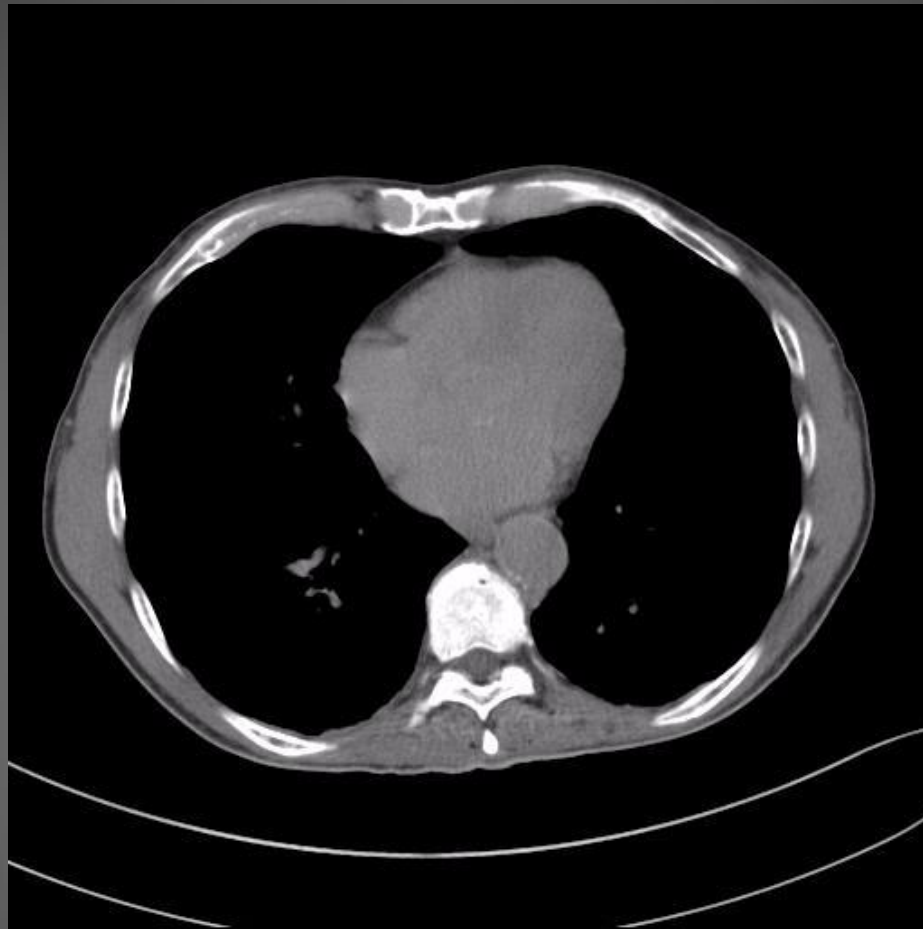


IPA-DSA





Rt.IPA feederにTACE中、門脈枝が描出された。
と思いきや、胆管が描出され、CBDを介して十二指腸へ
miriplatin + Lipiodolが排出されました。



Lipiodol-CTでも胆管内に鋳形状のLipiodolあり。
特に術後経過に問題はありませんでした。

TACE中に、胆管が描出された経験のある先生、
おられますか？

胆管近傍のHCCはTACE後に胆管内に排出された
報告はたまに聞きますが、TACE手技中に胆管が
描出されたのは初体験でした。



筑波山です。